

未来型図書館の「いま」をお伝えします！

みんなで作る未来型図書館 ニュースレター vol.11

令和5年度の官民連携事業調査を経て、未来型図書館の導入機能や施設規模、事業手法等の方向性を事業方針としてとりまとめました。いよいよ令和6年度は施設づくりの根幹となる「基本計画」の策定を目指します。引き続き、リビングラボなどを通じてみなさんと一緒に取り組んでいきます！

未来型図書館等複合施設

- 立地場所** 公会堂跡地を含む約6,800㎡
- 施設規模** 建築面積：約4,000㎡
延床面積：約9,000㎡
- 主要機能** 図書館、展示室（博物館）、多目的室
会議室、各種スタジオ、キッズルーム
市民交流スペース、飲食スペース
- 整備運営** 官民連携事業を想定
（設計・建設・運営を一括発注）
- 関連事業**（検討中）
 - ・広場や飲食店等の設置（図書館等の跡地）
 - ・立体駐車場の整備（市役所前駐車場）

事業方針について



※詳細は市HPに掲載中！

第5回リビングラボ

2月4日（日）に「リビングラボの小松モデルを考えよう！」をテーマに開催しました。令和5年度の最終回となる第5回には、スペシャルゲストとして、リビングラボの取組みの先進国であるデンマークより、ロスキレ大学准教授の安岡美佳先生にもご参加いただきました！安岡先生のご講演や、宮橋市長、野末先生とのトークセッションの様子は市HPにて動画配信中です。是非、ご覧ください！



子どもから大人までみんなで楽しく開催！



図書館エディター

Congratulations!

2月18日（日）に第2期図書館エディター養成講座が終了しました。第2期では17名の図書館エディターが誕生。受講生からは「未来型図書館についても発信していきたい」「小松市を良いまちにしていこう！と自分事として思うようになった」といった感想をいただきました。

今後は第1期生で結成した「こまつオルフ's」として未来型図書館づくりをサポートいただきます。



みんなで作る未来型図書館 リレーエッセイ

第11回目は安岡 美佳 准教授です！

（デンマーク ロスキレ大学）

小松市のみなさん！こんにちは。デンマークのロスキレ大学でリビングラボの研究をしている、安岡美佳です。

図書館は、何百年もの間、本を提供することで人々の継続した学びを支えてきました。でも、今世界の図書館は大きく変わろうとしています。それは、近年、人は、本からだけでなく、全身の感覚を使い、さまざまな形で学ぶことが注目されているからです。北欧では、小さな子どもたちに「じっと座ってなさい」と、あまり言いません。それは、言語の発達途中の幼児たちにとって、学びのチャネルは身体で、五感全てを使って学ぶからです。そして、言語に長けた大人にとっても、実は、五感で学ぶことがとても大切だと認識されるようになっていきます。

皆さんの「未来型図書館」に求める学びの形はどのようなものでしょうか。皆さんで模索して、たくさんの意見を混ぜ合わせ、みんなが楽しめる未来の図書館を創っていきましょう。そして、時々、私みたいな小松が大好きな外の人でも皆さんの学びの模索の旅に同行させてください。きっと面白いインスピレーションにつながると信じています。



安岡 美佳 准教授

お知らせ

未来型図書館づくりについては、市ホームページ等で情報発信しています。また、「note」でも様々なコラムを掲載しているので是非、チェックしてください！



みんなで作る、みんなで作る未来型図書館へ

